

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：環境安全・防災課
担当課長名：

事業名 地域高規格道路 大隅縦貫道Ⅰ期 主要地方道鹿屋吾平佐多線 吾平道路	事業区分 地方道	事業主体 鹿児島県										
起終点 自：鹿児島県鹿屋市吾平町下名 至：鹿児島県鹿屋市吾平町上名	延長 4.2 km											
事業概要 吾平道路は、鹿屋市から錦江町を經由し、南大隅町に至る約50kmの地域高規格道路道路「大隅縦貫道」の一部を構成する道路であり、平成26年12月に供用された串良鹿屋道路などと一体となって広域交通ネットワークを形成し、地域の産業・経済の活性化に大きく寄与する道路である。												
H27年度事業化	都市計画決定 無し	H29年度用地着手										
H30年度工事着手												
全体事業費 約64億円 事業進捗率 約18% 供用済延長 — km												
計画交通量 3,200~9,600台/日												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.1</td> <td style="text-align: center;">44/55億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業) 1.4</td> <td style="text-align: center;">(事業費：43/55億円 維持管理費：0.74/0.74億円)</td> </tr> </table>	B/C	(残事業)/(事業全体)	(事業全体) 1.1	44/55億円	(残事業) 1.4	(事業費：43/55億円 維持管理費：0.74/0.74億円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">62/62億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：48/48億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円)</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	62/62億円	(走行時間短縮便益：48/48億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円)
B/C	(残事業)/(事業全体)											
(事業全体) 1.1	44/55億円											
(残事業) 1.4	(事業費：43/55億円 維持管理費：0.74/0.74億円)											
総便益	(残事業)/(事業全体)											
62/62億円	(走行時間短縮便益：48/48億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円)											
感度分析の結果												
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量 : B/C=1.03~1.2 (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量 : B/C=1.3~1.5 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C=1.04~1.2 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費 : B/C=1.3~1.6 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C=1.07~1.2 (事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間 : B/C=1.4~1.5 (事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>			(事業全体) 交通量 : B/C=1.03~1.2 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=1.3~1.5 (交通量 ±10%)	事業費 : B/C=1.04~1.2 (事業費 ±10%)	事業費 : B/C=1.3~1.6 (事業費 ±10%)	事業期間 : B/C=1.07~1.2 (事業期間 ±20%)	事業期間 : B/C=1.4~1.5 (事業期間 ±20%)				
(事業全体) 交通量 : B/C=1.03~1.2 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=1.3~1.5 (交通量 ±10%)											
事業費 : B/C=1.04~1.2 (事業費 ±10%)	事業費 : B/C=1.3~1.6 (事業費 ±10%)											
事業期間 : B/C=1.07~1.2 (事業期間 ±20%)	事業期間 : B/C=1.4~1.5 (事業期間 ±20%)											
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通ネットワークの構築（東九州自動車道と一体となり、鹿児島空港までのアクセス向上） ・ 物流効率化の支援（農畜産物の安定的な輸送支援） ・ 災害への備え（冠水箇所を回避し、第二次緊急輸送道路の機能を強化） ・ 生活環境の改善（第二次救急医療施設へのアクセス向上による救命率の向上） 												
関係する地方公共団体等の意見 鹿屋市など大隅地域4市5町で構成される大隅総合開発期成会等より大隅縦貫道の早期整備を要望されている。												
事業評価監視委員会の意見 鹿児島県事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 東九州自動車道の鹿屋串良JCTから～志布志間が平成29年12月1日に令和2年度までの開通予定発表 東九州自動車道の隼人道路が平成30年3月30日に4車線化の事業許可												
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約72%、事業進捗率約18%												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。												
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の有効活用、新技術の採用等による工事コストの縮減に努めていく												
対応方針 事業継続												
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。												
事業概要図												

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。